

平成 27 年度 日本老年看護学会 総会議事録

日時：平成 27 年 6 月 14 日（日） 13 時～13 時 50 分

場所：パシフィコ横浜 展示ホール B 内 老年看護第 3 会場

議長：正木 治恵

報告者：理事長 堀内 ふき

理事（総務） 山田 律子 湯浅 美千代

理事（委員長） 太田 喜久子 亀井 智子 酒井 郁子 真田 弘美

諏訪 さゆり 田高 悦子 水野 敏子

監事 泉 キヨ子

記録：小野 美香子（会員） 真志田 祐理子（会員）

1. 開会の辞

湯浅理事より、会員数 1,716 名のうち、委任状 685 通、出席者 90 名であり、会則 19 条に則り総会として成立している旨の報告があり、開会が宣言された。

2. 議長選出

議長選出にあたり、慣例により正木治恵第 20 回学術集会長が選出された。

3. 報告事項

1) 理事会、評議員会報告（資料 1）

堀内理事長より、資料 1 に基づいて下記平成 26 年度の主な活動内容および理事会開催状況が報告された。併せて、名誉会員を推薦し評議委員会で承認を得たこと、役員選挙にあたり選挙管理委員会を組織したことについても報告があった。

(1) 学術集会の準備

第 20 回学術集会は日本老年学会（第 29 回日本老年学会総会）との合同企画であり、正木学術集会長のもと 6 月 12 日より開催されている。また、第 21 回学術集会は桑田学術集会長のもと、平成 28 年 7 月 23 日（土）、24 日（日）に大宮ソニックシティでの開催に向けて準備を進めている。第 22 回学術集会は、日本老年学会（第 30 回日本老年学会総会）との合同企画であり、鈴木学術集会長のもと平成 29 年 6 月 14 日（水）～16 日（金）に名古屋国際会議場での開催に向けて、準備を進めている。

(2) 委員会規定の整備

(3) 法人化に向けての検討、選挙準備

法人化に向け、事務センターとともに定款・代議員選挙規定・役員選挙規定案をつくり理事会で検討した。評議員会・総会で承認されれば平成 28 年度より一般社団法人として活動できるよう、評議員・理事選挙と合わせてスケジュールを検討している。今年度は選挙がおこなわれるが、こちらは従来の規程で実施する。

(4) 他学会、協議会等との連携の推進

2) 総務報告 (資料1)

湯浅総務 (庶務) 担当理事より, 資料1に基づいて会員数の動向および広報活動について以下のとおり報告がなされ, 承認された。

- ・ 会員数の動向: 1,716名 (平成27年4月29日現在)。平成26年度194名増。
- ・ 広報活動: メールマガジン, 会報の発行および, ホームページの会員専用サイトの構築を行った。サイトは6月16日(火)にオープンし, 会員検索, 登録更新, 報告書の閲覧が行える。会員には近日中に専用サイトのIDおよびパスワードを送付予定。

3) 委員会等報告 (資料2)

湯浅総務 (庶務) 担当理事より, 資料2に基づいて以下のとおり委員会の活動報告がなされ, 承認された。

(1) 編集委員会

学会誌発行20周年記念号として第19巻2号, 第20巻1号を発行した。第20巻2号においても記念特集を掲載予定。電子投稿・電子査読システムを導入し, 問題なく稼働している。次回の投稿締切は7月末。

(2) 研究・教育活動推進委員会

H25年11月「本学会会員における研究費申請・獲得に関する実態調査」を実施した。その結果を基に, 日本老年看護学会第20回学術集会でのワークショップ(6月14日)を実施した。また若手研究者向けの科研費獲得に向けた研修会(8月9日)が企画され, 現在申込受付中である。

(3) 老年看護政策検討委員会

平成28年度診療報酬改定に本学会からの提案を行うために, 神経認知障害(認知症)入院高齢患者へのチーム医療の有効性を評価するためのシステムティックレビューとメタアナリシス, および実態調査を行った。結果について報告書を作成し, 学会ホームページを通じて公開している。また, 日本老年看護学会第20回学術集会のワークショップ(6月14日)で報告した。

(4) 国際交流委員会

第19回, 第20回学術集会において, 海外からの招聘講演や, 国際共同研究としての課題を取り上げたワークショップの企画・開催を行った。その他, ホームページで活動内容を報告している。

(5) 研究論文表彰選考委員会

選考委員会で平成27年度選考対象論文候補を選定し, 理事・幹事, 評議員による投票結果をもとに理事会にて下記2論文が承認された。

- ・ 優秀賞

【原著】鈴木みずえ他「認知症高齢者における疼痛の有症率と疼痛が認知症の行動・心理症状(BPSD)に及ぼす影響」2014;19(1):25-33.

- ・ 奨励賞

【原著】菅沼真由美他「認知症高齢者の女性介護者に対する家族介護者間

交流プログラムの効果」2014;19(1):81-90.

また、学会誌の分類変更（研究ノートの廃止）に伴い委員会規定を変更した。併せて、対称となる期間を2年から1年とし、「優秀賞」は原著論文。「奨励賞」は原著論文以外の論文を対象とすることとした。

(6) 生涯学習支援委員会

研修事業を企画し、【基礎編】：3回、【実践編】：老人看護専門看護師（GCNS）と日本緩和医療学会との共催で2回、災害支援検討委員会との共催で1回開催した。また、モデル事業として【応用編】：「日本の認知症ケアの方向性と老年看護学の貢献」をテーマに講演会を実施した。委員会では、研修会の継続的に実施するための整備を行っている。

(7) 災害支援検討委員会

学術集会において平成26年度は交流会、今年度はシンポジウムを企画・実施した。

生涯学習支援委員会と協同で研修会を実施した。好評ではあったが参加人数が少なかったため、今年度も平成27年8月29日に同様の内容で研修会を開催予定である。また、平成27年3月14日第3回国連防災世界会議の「日本看護系学会協議会主催のパブリックフォーラム」で、本学会における活動を報告した。

(8) 専門看護師・認定看護師活動推進委員会

認知症看護認定看護師の組織化に取り組んだ成果として、平成27年6月12日認知症看護認定看護師会が発足した。今後はGCNSとの連携を踏まえ、研修や認定更新にも関与していく予定である。

4. 協議事項

1) 平成26年度決算（案）（資料3）

山田会計担当理事より、資料3のとおり報告がなされ、承認された。

・ 一般会計（平成26年度決算額）

収入の部：小計 28,023,176 円 前年度繰越金 11,612,777 円 合計 39,635,953 円

支出の部：小計 18,341,576 円 次年度繰越機 21,294,377 円 合計 39,635,953 円

・ 学会積立金特別会計（平成26年度決算額）

前期繰越金 20,040,389 円 受取利子 3,993 円 収入合計 20,044,382 円

2) 平成26年度決算監査報告（資料3）

泉監事より資料3に基づいて平成26年度監査報告がなされ、承認された。

なお1), 2) の報告がなされた後の質疑応答にて、収入と支出の小計バランスより緊縮財政をした様子が伺えるため、支出を多くしても良いのではないかとの提案がなされた。山田会計担当理事より、平成26年度は予算額を立てた段階で約400万円の持ち出しがあったため、交通費を工面する等して対応したが、今年度は選挙年度でもあるため交通費の捻出もしていく旨、返答があった。

3) 法人化（一般社団法人）について（資料4）

堀内理事長より法人化の提案がなされた。資料4に基づいて主旨と定款（案）の主な内容について説明があり、法人化、定款案について承認された。

- ・ 定款は、これまでの規定に沿い法人化するにあたって整備したものであり、大きな変更は行っていない。
- ・ 新たに第3条（6）市民公開講座などの社会貢献事業、（7）国内外の関係学術団体との協力・連携事業を追加した。
- ・ 代議員から社員に名称が変更する。
- ・ 実情を勘案し、第44条における承認場所を評議員会から理事会に変更した。
- ・ 今年度の選挙は、現在の役員選挙規定に基づき実施する。
- ・ 法人化した場合、この選挙で選ばれた評議員が代議員（社員）（1期目）となる。
- ・ 評議員より選ばれた理事・監事が法人の理事・監事（役員）となる。
- ・ 2016年6月社員総会（現評議員会）までは現理事・評議員が運営する。
- ・ 法人申請時から社員総会までの役員は、便宜上、現在の総務6名・監事2名とする（設立時社員）。

4) 平成27年度事業計画（案）（資料6-1）

堀内理事長より資料6-1に基づいて報告がなされ、承認された。

平成27年度の事業計画では、法人化、次の大会に向けて新たに「12. 情報発信の推進」（認知症看護についての立場表明）を追加した。

5) 平成27年度予算（案）（資料7）

山田会計担当理事より資料7に基づいて報告がなされ、承認された。

<一般会計>

収入の部：小計 21,210,000 円 前年度繰越金 21,294,377 円 合計 42,504,377 円

支出の部：事業費支出小計 20,154,600 円 管理費支出小計 4,488,800 円

次年度繰越金 17,320,977 円 合計 42,504,377 円

- ・ 学会誌刊行費、学会誌郵送費はこれまで編集委員会の予算で組んでいたが、法人化に伴い別立てした。
- ・ 「生涯学習支援事業」を特別会計とし、学会積立金特別会計から1,000万円（年間100万円×10年分）を生涯学習支援事業費として割り当てる。

6) 平成28年度事業計画基本方針（案）（資料6-2）

堀内理事長により、資料6-2のとおり13項目の基本方針案が提案され、承認された。

7) その他

湯浅総務担当理事より、資料5に基づいて選挙スケジュールの説明がなされた。

また、法人化の遅れに伴いアナウンスが遅れている状況を踏まえ、選挙管理委員会で検討した結果、7月末時点での会費納入状況で選挙人、被選挙人を選出する旨、報告さ

れた。

5. 学術集会について

1) 第 21 回学術集会

桑田美代子第 21 回学術集会长より，下記内容について説明があった。

- ・ 開催日：2016 年 7 月 23 日（土），24 日（日）
- ・ 会場：大宮ソニックシティ
- ・ テーマ：死を見据えたケア 高齢者本人とケアチームによるケアの創造と統合へ
- ・ 演題登録期間：2015 年 12 月 14 日（月）～ 2016 年 2 月 10 日（水）

2) 第 22 回学術集会

鈴木みずえ第 22 回学術集会长より，下記内容とともに他学会合同開催となる旨説明があった。

- (1) 開催日：2017 年 6 月 14 日（水）～16 日（金）
- (2) 会場：名古屋国際会議場

6. 名誉会員証授与

堀内理事長より，金川克子会員，山幡信子会員に対し名誉会員証が授与され，ご挨拶があった。

7. 表彰

真田研究論文表彰選考委員長より，研究論文優秀賞，奨励賞受賞者が発表された。受賞者の鈴木みずえ会員，菅沼 真由美会員に対し，堀内理事長より賞状，および酒井理事より副賞が贈呈され，受賞者 2 名よりご挨拶があった。

8. 閉会の辞

湯浅理事より閉会の辞が述べられ，閉会となった。

以上